



創立：平成24年
課程・学科：通信制課程・普通科
生徒数：1,262名
所在地：〒981-1217
名取市美田園二丁目1番地の4
まなウェルみやぎ 4階
TEL：022-784-3572
FAX：022-784-3573

ホームページアドレス：
<https://mitazono.myswan.ed.jp>
電子メールアドレス：
mitazono@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
仙台空港アクセス鉄道：美田園駅下車徒歩東進5分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

宮城県唯一の公立通信制高校

学ぼうとする意志があれば、年齢、職業、学力を問わず、だれでも自分のペースで学習ができます。レポート、スクーリング、テストの3つを柱として、家庭での自学自習を中心に学習を進めます。スクーリングは日曜日と月曜日（1日7時間の時間割で、日・月の内容は同じ）にそれぞれ年間18回実施しています。さらに、集団が苦手な生徒を対象とした水曜スクーリング（午後3時間の時間割）を年間18回設定しています。テストは前期末と後期末の年2回実施します。

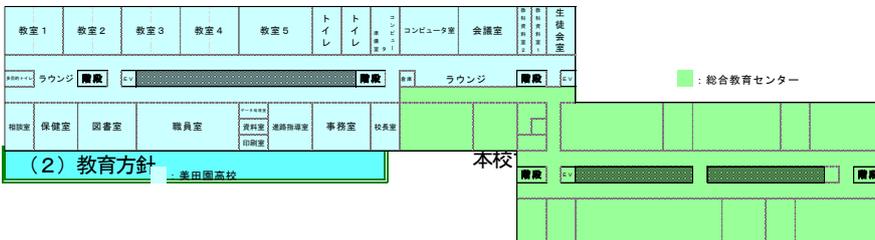
(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

平成24年4月、仙台第一高等学校通信制課程が美田園高校として独立・開校しました。平成25年4月に宮城県教育・福祉複合施設『まなウェルみやぎ』4Fへ移転し、生徒たちは恵まれた環境で学校生活を送っています。

〈施設外観：まなウェルみやぎ〉



まなウェルみやぎ 4F平面図



(2) 教育方針

- (1) 個に応じた学習指導を実践し、生きる力を支える確かな学力を育む。
- (2) 学習や体験をととして、多様なものの見方や考え方を身につけ、豊かな人間性を涵養する。
- (3) 自主的に学ぶ通信制課程の特性を生かし、主体的に問題を解決していく姿勢を育む。

(3) 教育課程の特徴

- (1) 本校では、各教科の基礎・基本を重視しています。特に国語、数学、英語については、中学校の学び直し科目として「アクセスOO」、教科の必履修科目（高校生全員が必ず学ぶ科目）として「OO（基礎）」、「OO（標準）」の計3つのレベルを設定しており、習熟の状況に応じて科目を選択することができます。

また学校設定教科「キャリア」を設け、希望進路に係わるキャリア形成を図る科目も開講しています。

- (2) 本校は普通科ですが、家庭・商業の専門科目を開講し、科目選択の幅を広げています。
- (3) 通信制は自学自習が基本ですが、生徒個々の学習到達度に応じたレポートの添削指導をはじめ、通常の日・月スクーリングのほか、水曜スクーリングや地域スクーリング（県北部の大崎市古川で年6回）も実施しています。
- (4) インターネットを利用した学習支援(Myスタ：生徒専用webサイト)、日・月スクーリングにおける学習支援員や学習サポーターによる学習支援などを取り入れ、学ぶ意欲のある生徒をさまざまな形でサポートしています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

事に加え、地域見学会（地歴公民科主催）や企業見学会（進路指導部主催）など、各種の行事・特別活動を実施しています。このような行事は、入学年度毎の垣根を超えて生徒が互いに親睦を深める機会にもなっています。

また、生徒会は、スクーリング日を中心に活発に活動しています。主な活動として、生徒会総会、運動会の企画・運営のほか、生徒会誌の発行、学校周辺の清掃活動、古切手の回収などを行っています。

このような活動は、幅広い年齢層の生徒が通う通信制において仲間作りのきっかけとなり、互いに励まし合って学習を継続し、高校生活の思い出を作る上でも大きな役割を果たしています。

なお、部活動はありません。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R6	R5	R4
4年制大学 (うち通信制)	24 (2)	21 (0)	25 (2)
短大	8	1	4
専各学校	43	23	39
就職	27	25	27
卒業生計	226	172	207

主な進路先(令和7年3月卒業生)

在籍中からの既就職者もありますが、卒業後の就職を希望する生徒も毎年います。大学進学や専門学校を目指す生徒に対しても、学校として様々な支援をしています。

令和6年度卒業生が進学した主な大学・短大、大学の通信教育部は以下のとおりです。

山形大学、東京女子大学、亜細亜大学、桜美林大学、武蔵野大学、埼玉工業大学、東北芸術工科大学、東北学院大学、仙台白百合女子大学、宮城学院女子大学、尚絅学院大学、石巻専修大学、東北工業大学、仙台青葉学院大学、聖和学園短期大学、仙台青葉学院短期大学、東北生活文化大学短期大学部、東北福祉大学(通)、ZEN大学(通)、他

3 学校魅力発信

自宅で自分の力で勉強する学校だから、全日制課程の高校とは違った魅力が色々あります。

(1) 登校負担が少ない

学校に登校する日が極端に少ないです。

開講式（始業式に当たります。）、スクーリング、学校行事、定期試験、受講科目登録（次年度に学習する科目を選択する作業です。）、閉講式（終業式に当たります。）、これらすべてに登校したとしても年間約30日の日曜日（スクーリング・定期試験は月曜日の場合もあります。また、受講科目登録は平日です。）で済んでしまいます。

そして、スクーリング日は、出席が必要な時間帯に参加するだけで構いません。1日7時間の時間割が作成されていますが、そのうちの何時間目に参加するかは、時間割を見て自分で決めることができます。



新入式（4月）



開講式（4月）

(2) 必要経費が少ない

あまり学費がかかりません。

受講料（授業がないので、授業料の代わりになるものです。）、教科書類、諸経費等を合わせると、年間約4万円です。このうち、受講料については、就学支援金の制度（国が授業料を補助する制度）が用意されていますから、適用されると受講料の自己負担が大幅に減ります。

この他に、学校指定用品として全員が購入するのは、体育館シューズだけです。指定の制服はありません。

(3) 個人をサポート

学習環境をサポートする体制が充実しています。

日・月のスクーリングには「学習支援室」を開設し、長年の教職経験がある「学習支援員」と、教育大学の現役学生の「学習サポーター」が、様々な質問にアドバイスをしてくれます。

他にも、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、キャリアアドバイザーがいるので、学習する環境を整えるための相談をすることもできます。マンパワーとしては、おそらく県内トップです。

また、レポート作成をサポートするために、本校生徒専用ウェブサイト「Myスタ」を設け、レポート作成のヒントや注意点、スクーリングで配付したプリント等が掲載されたeラーニングのサイト「Meラーニング」と、レポートが第何回まで合格しているか、スクーリングに何回出席したかが確認できるeポートフォリオのサイト「Meポートフォリオ」があります。



Meラーニング（アクセス数学）

Meポートフォリオ



学習支援室



リラックスコミュニケーション講座

(4) 秋からのスタートも可能

本校は、年度途中の秋に入学することもできます。

本校は二期制をとっていますので、学期の切り替わりのタイミングで二期入試を実施しています。秋から学習をスタートして、最短で3年後の秋に卒業をすることも可能です。

中学校を卒業してから年月が経っていても、4月の入学と変わらない高校生活をスタートすることができます。



二期入学説明会（8月）



後期入学式（10月）

(5) 何かとの両立が可能

「〇〇しながら学習」することができます。

1年の大半を占める自宅での時間の過ごし方は、個人の都合で自由に過ごすことができます。だから、仕事・アルバイトをしながら、子育てをしながら、病気治療をしながら、スポーツ選手をしながら、芸能活動をしながらなど、何かやることを持っている人や、これからそうなる人が同時並行で高校の学習ができるのは、通信制課程の大きな特徴です。

(6) 本当のマイペース

無理のない学習分量で1年を過ごすことができます。

高校を卒業するまでの学習分量は、全日制課程と変わりません。本校では、その学習分量を1年ごとにどう配分するかを考えて、自分の1年間の学習分量を決めることができます。もし、1年間の学習分量を多く設定しすぎて苦しくなった場合は、無理をせずに途中でそれを別年に回してやり直すこともできます。このことから、卒業にかける年数は、自分の状況に応じて4年、5年とかけても構わないのが本校のマイペースです。

(7) 行事で自身をアップデート

登校した際には、普段会うことのない生徒とようやく顔を合わせるようになりますが、本校には様々な学習経歴の生徒がいて、自然と互いに気を配り合いながら学校生活を送っています。そんな集団の中で自分の身をどう置くかを学ぶ機会が学校行事です。

学校行事は、どの行事に参加するかは自分で決めることができます。主にスクーリングの日の時間割の中で実施していますが、時間のかかる行事については、その行事だけの日を日曜日を中心に設定しています。話を聴く行事からグループを組んで活動する行事まで、色々な種類の行事を用意していますので、無理のないところから参加して、人との距離の取り方や関わり方を少しずつ身につけることができます。



前期生徒総会（5月）



運動会（6月）



避難訓練（5月）



遠足（10月）